

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(11/01)

武田壽夫(文、写真)、倉谷(写真)、山 國(写真)

日 時：2018(平成 30)年 11 月 1 日(木) 9:30~15:30

気 象：天候=晴れ (気温：12℃)

活動エリア：44 林班い・に、45 林班ろ・04・に・03 ほか

活動内容：台風被害木の整理と体験参加者の活動地体験

参加者：(会員)内海宏一、倉谷邦雄、後藤和子、杉本佳英、武田壽夫、山田眞也、茂木完治、山 國
(体験)越野雅美、小杉貴之 計 10 名

<11 月 1 日⇒今日から”霜月”>

梅雨時から秋口にかけて、地震に居座る線状降水帯、相次ぐ台風とこの森も道も散々の有様。それでも活動を続ければ徐々に整理が進んでいく。♪冬が来る前に♪何とか歩道・里道は通れるように片付け、活動地の林床整備や枯損木除伐を再興したい、今日もそんな思いで JR 高槻駅前に集合。

♪冬が来る前に♪：紙ふうせん (フォークグループ) の曲、歌ってみて下さい

今日も新しい顔がお二人。新入会の内海、山田両氏に加え、越野さん、小杉氏のお二人が体験参加。トレイルランで親しい方々だそうで、我々の森林づくりも参加者のウイングが広がっている。厄介事ばかりの台風だが、一方でこうしたお土産も持ってきてくれた。

(帰途、薦田会員と不羈遭遇、摂津峡青少年キャンプ場管理者の甲斐氏ほか計 4 人で山歩き中とのことで、本山寺まで同行)

<今日の活動は山頂組と体験組で>

山頂尾根に 6 人、体験 2 人を含む 4 人は森の話を交わしながら先ず活動地を一巡。

山頂では、「44 林班に」のモニタリング調査区への里道を通るルートの障害木の除去、これは調査区手前と調査区の先と二班で鋸を奮う。例によって会津鋸が活躍。ただ、倒木の枝が重なる難所で足場が悪く、今日も難行苦行を重ねる。体験組は里道脇の枯損木で伐倒を体験して貰い、午後は山頂組に合流。

<成果>

モニタリング調査区へのルート整備は手前 20m、前方(=南西方向)50m 約 50m を整備、尾根を下る里道に連絡可能となった。

<山だより>

リス(?)の置土産、糞。山頂から南西に下る尾根道から大阪湾が遠望出来ることを発見、各写真添付。郡上八幡からは六ノ里(ろくのり)の谷(*)に架った虹、森林づくりの明日もこうありたいもの。

*岐阜県郡上市白鳥町 棚田で有名で「にじいろプロジェクト」展開中

(本文 以上)

① : お山は晴天、今日も元気で



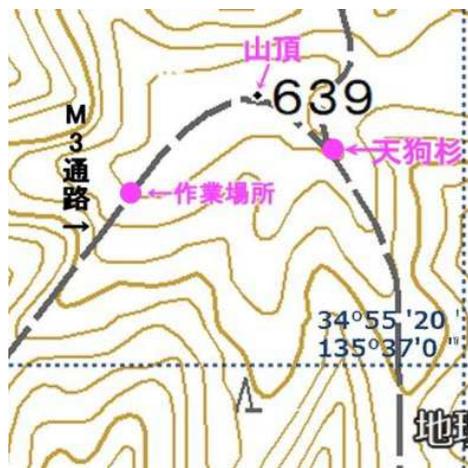
② : ①のお名前

(左から-敬称略)

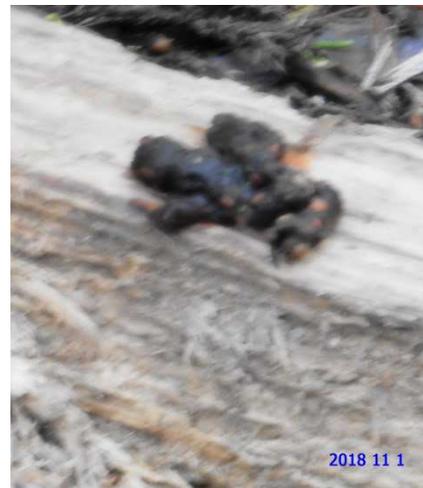
←後列：倉谷、山國、杉本、山田、内海、小杉(体験)

←前列：武田、後藤、越野(体験)、茂木

③ : 山頂部要図



④ : リス?の置土産(落ちたモミの実を食べた)



⑤ : モニタリング調査区まであと一息



⑥ : 重いのを何とか路肩に片付ける



⑦ : 片付けないと前進は困難(モニタリング調査区付近)



⑧ : 邪魔モノは出来るだけ始末



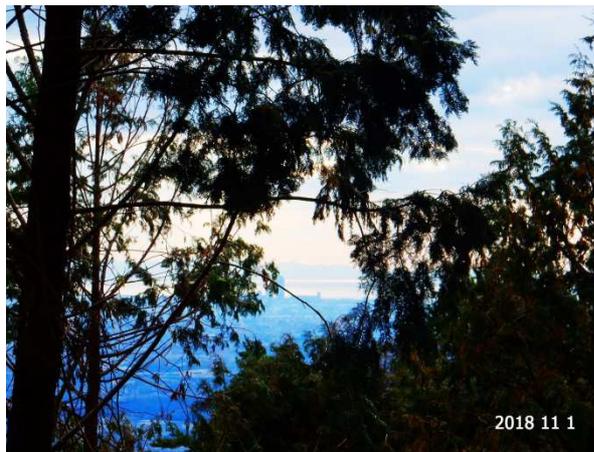
⑨ : モニタリング調査区到着(風で木が曲がっている)



⑩ : 薦田会員一行との思いがけぬ「遭遇」



⑪ : 木々の間に大阪湾が見える



⑫ : 約束の「虹」ー 郡上市白鳥町六ノ里



虹は大洪水を生き延びたノア達にエホバの神が示した約束の証し(旧約聖書)とか